

東北労働金庫「ろうきん地域貢献ファンド」 2007年度
Bコース（備品購入応援コース） 助成事業報告書

平成20年 3月 21日

団体名（ふりがな）	（とくていひえいりかつどうほうじん いきいきわたり） 特定非営利活動法人 いきいき亘理
購入物品名	ミニ耕運機
連絡担当者お名前（ふりがな）	（こまつばら じゅいち） 小松原 壽一
<p>助成金を使って購入した物品の活用状況について、記述してください。 （購入した物品の写真は必ず添付してください。）</p> <p>この度、助成金により購入させていただいた本田技研の「ミニ耕運機」は、パワフル、低燃費、超小型・軽量(17Kg)で、初心者でも女性にも作業しやすく、且つ工具なしで簡単に折りたたんでバンタイプの軽自動車に積み込み運搬したり、保管するときも場所をとらず大変重宝しております。</p> <p>特に、活動場所が町内の広範に亘り点在していること、そして農耕地とは異なり、数多くある個々の花壇の面積に適応し小型で取り回しがよいことから、このように最適な機種を購入させて頂いたと思っております。</p> <p>花壇に花苗を植栽する際には前もって培養土・腐葉土・肥料を撒き土壌作りをしなければなりません、耕耘機を使用することによって花壇を隈なく耕運攪拌できるため、植えつけ後の花の生育にも良い結果をもたらしています。</p>	
	

助成金を使って購入した物品の活用状況について、記述してください。(続き)



今回の物品購入によって、団体の活動や地域社会にどのような成果・効果がありましたか

NPO法人の運営にとって大事なことは、経営資源のバランスのとれた充実です。「人・もの・金・情報」のいずれも欠くべからざる資源であり、このことのために日夜模索し、手さぐりをしているのがNPO法人の実態ではないか思います。

この度の助成金により、活動する上で強く必要性を感じていた耕運機を購入させていただき、その利便性・効率性が確認できました。

6月下旬には、春の花苗(サルビア・ペコニア・マリーゴールド)に植替えをして花壇の装いを一新しますが、耕運機を最大限活用して立派な花壇を造成したいと考えております。



国道・県道の幹線道路沿いに花と緑のいっぱい運動を展開し、併せて周辺のゴミ拾い清掃・除草活動を行い、「うるおいのあるまちづくり」に向けて住民の環境美化意識を醸成するためにこの活動を継続して推進します。

また、このことの広報活動、啓発活動の一環として県道沿い花壇に宮城県仙台土木事務所の施工により左の写真に示す標識を設置して頂きました。

今回購入した物品を活用して、今後、事業をどのように展開していきますか
また、その際に必要なものは何ですか

「継続は力なり」と言われます。

去る2001年に開催された第56回みやぎ国体に際して、他県からのお客様をお迎えするにあたって全県的に「花いっぱい運動」が展開されました。

然し、その翌年には花は朽ち果て雑草が生えたプランターの残骸が路傍に放置されていたのが思いおこされます。

このことをきっかけとして「花と緑のいっぱい運動」を発意し活動をはじめたので、この初心を忘れることなく、地域社会のニーズに応え花と緑のまちづくり事業をこれからも継続展開し、地域住民には潤いとやすらぎを、町に出入りする人、通過する人達には町のイメージアップを、そしてこの活動を通じて地域貢献のコミュニティを形成し、支持・参加の輪を広げていきたいと思っております。

その際に必要なものは団体資源の充実と考えます。

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	金額（円）	内訳
ろうきん地域貢献ファンド助成金	42,347	備品購入応援コース助成金
自己資金より	17,453	
合計	59,800	

支出の部

項目	金額（円）	内訳
備品購入	59,800	ホンダ技研 耕うん機(FG-201)
合計	59,800	

<ろうきん>へのメッセージをどうぞ。

私ども法人は、まちづくりの一環として植花・緑化活動や清掃活動により、地域の環境美化に努めております。

この度のご助成によって、花壇の造成に必要な欠くべからざる備品として、ミニ耕運機を購入できましたことに厚くお礼申し上げます。

十分有効に活用させて頂きます。

有難うございました。